

若葉総合高等学校 令和 4 年度 教科 国語 科目 現代の国語

教科: 国語 科目: 現代の国語 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 1 学年 A 組 ~ F 組

教科担当者: (ABC:坂口) (DEF:筒井)

使用教科書: 大修館書店『新編 現代の国語』

教科	国語	の目標:	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次の通り育成することを旨とする。
【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。		
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝えあう力を高め、思考力や想像力を伸ばす。		
【学びに向かう力、人間性等】	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。		

科目	現代の国語	の目標:	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】	
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊に想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の想いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化に担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・書	読					
1 学 期	単元 ことばをひらく 【知識・技能】 ・主張と根拠の関係について理解する。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者の主張をふまえて、学習に前向きに取り組もうとしている。	・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等 ・変わること、コミュニケーションに対する筆者の考え方を読み取る。 ・これからの学習で取り組みたいこと、興味のあることについて、自分の考えを見つめる。 ・自己紹介 ・ワークシート ・小テスト	○	○	単元 ことばをひらく 【知識・技能】 ・主張と根拠などの関係について理解している。〔2ア〕 【思考・判断・表現】 ・「今の時代」に対する筆者のとらえ方を的確に読み取っている。 ・「変わる」ことについて、筆者の考えを理解している。〔C1ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者の主張をふまえて、コミュニケーションに前向きに取り組もうとしている。	○	○	○	9
	定期考査								
	単元 日本語を使いこなす 【知識・技能】 ・場面や目的に応じた適切な言葉、敬語について正しく理解している。 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、場面や目的に応じた適切な言葉を選ぶことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・言葉を正しく使い分けることに意欲をもとうとしている。	・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等 ・場面や目的に応じて適切な言葉を選ぶ。 ・敬語の正しい使い方や類義語のニュアンスの違いを理解し、適切に使い分ける。 ・ワークシート ・小テスト ・端末入力	○		単元 日本語を使いこなす 【知識・技能】 ・正しい表記(仮名遣い、漢字、送り仮名)を理解し、ワーク1に正解している。 ・文の係り受けについて理解し、ワーク2で正解している。〔1イ〕 【思考・判断・表現】 ・文章で物事を伝えるために、適切な表記や正しい係り受けの関係で表現し、「力だめしに挑戦」で正解している。〔B(1)ウ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に学習に取り組み、自らの言語生活を豊かにしようとしている。	○	○	○	5
	定期考査								
単元 わかりやすく説明する 【知識・技能】 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、内容や論理の展開などについて叙述をもとにとらえ、要旨や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に学習に取り組み、説明のしかたをとらえようとしている。	・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等 ・説明のしかたに注意して文章を読む。 ・順序を表す言葉や接続表現、問題提起と答えに着目して、文章の構成をつかむ。		○	単元 わかりやすく説明する 【知識・技能】 ・二つの実験結果と筆者の主張の関係を把握している。〔2イ〕 【思考・判断・表現】 ・問題提起とその答えの部分を理解している。 ・二つの図と本文の関係を理解している。 ・筆者の主張を的確にとらえている。〔C1ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に学習に取り組み、説明のしかたをとらえようとしている。	○	○	○	11	
定期考査									
単元 聞く力を育む 【知識・技能】 ・話し言葉の特徴をふまえ、適切な言葉遣いや表現を理解し、使っている。 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、必要な情報を収集するためにインタビューのしかたを工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・インタビュー活動に興味をも	・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等 ・大切なことを落とさずに、正確に書く。 ・自分にとって必要な情報を意識して、メモをとりながら聞く。	○		単元 聞く力を育む 【知識・技能】 ・話し言葉の特徴をふまえて、相づちや表情なども意識しながらインタビューしている。〔1イ〕 【思考・判断・表現】 ○インタビューの展開を予想しながら聞き、情報を収集、整理している。〔A(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に学習に取り組み、「聞くこと」の大切さを理解し、聞き取りの学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	2	
単元 論理を読み取る 【知識・技能】	・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等			単元 論理を読み取る 【知識・技能】					

2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 比喩、例示、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解している。 【思考・判断・表現】 ・ 「読むこと」において、内容や構成について叙述をもとに要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 具体と抽象の関係、具体例の役割、筆者の主張などをとらえようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対比の関係に着目し、その意図を考えながら読む。 ・ 具体例の働きや具体と抽象の関係をとらえ、筆者の主張を読み取る。 	○	○	○	13
	定期考査					
	単元 情報と向き合う 【知識・技能】 ・ 主張と根拠など情報と情報との関係について理解している。 【思考・判断・表現】 ・ 「読むこと」において、情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈し、自分の考えを深めている。[C1]イ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 視点や根拠に注意し、文章や図形などから必要な情報を読み取ろうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指導事項・教材 ・ 一人1台端末の活用 等 ・ 図との関係に注意しながら、文章を読み取る。 ・ 文字・図形・絵などが読者に与える効果の違いについて考える。 	○	○	○	9
	単元 説得力を高める 【知識・技能】 ・ 文や文章の効果的な組み立て方について理解している。 【思考・判断・表現】 ・ 「書くこと」において、意見と理由（根拠）の関係を考え、書く工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 意見文を書くこと、討論することに興味をもち、意欲的に習得しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指導事項・教材 ・ 一人1台端末の活用 等 ・ 自分の考えが効果的に伝わるように、根拠を明確にして効果的に主張する。 ・ 相手の主張と根拠の関係を考え、反論する。 	○	○	○	6
定期考査						
3 学 期	単元 社会に目を向けて 【知識・技能】 ・ 例示や言い換えなどの述べ方について理解している。 ・ 筆者の主張とその根拠の関係について理解している。 【思考・判断・表現】 ・ 「読むこと」において、筆者の主張とその根拠となる具体例についてとらえ、自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指導事項・教材 ・ 一人1台端末の活用 等 ・ 筆者の問題意識と主張を、具体例に気をつけながら読み取る。 ・ 読み取ったことをふまえて、自分の考えを広げる。 	○	○	○	15
	定期考査					
合計						70

若葉総合高等学校 令和 令和4 年度 教科

国語

科目

言語文化

教科: 国語

科目: 言語文化

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 1 学年 A 組 ~ F 組

教科担当者: (A~C:筒井 綾) (D~F:坂口 菜穂子)

使用教科書: 『新編 言語文化』大修館書店

教科	国語	の目標:	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。
【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。		
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。		
【学びに向かう力、人間性等】	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。		

科目	言語文化	の目標:	言葉を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高める。思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、表現することによって言語能力の向上と社会生活の充実を図る態度を育てる。
【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。	【思考力、判断力、表現力等】	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】		【学びに向かう力、人間性等】	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しんで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	単元 古文に親しむ 【知識及び技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力・人間性等】 ・古文を読むことに興味をもち、積極的に音読したり響きやリズムを味わったりしようとする。	・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等 古文への招待 「いろは歌」「古文冒頭選」 ・古典の言葉と現代の言葉のつながりについて理解する。 ・受け継がれてきた古文を音読し、響きやリズムを味わう。 ・教科書にあるQRコードを読み取り、音声教材を活用する。	○ ○	単元 古文に親しむ 【知識及び技能】 ○漢字仮名交じり書きの本文を見て正しく音読している。 【思考力・判断力・表現力等】 ○本文のおおまかな内容を理解している。 ○いろはカルタ・いろは坂などの例をふまえて、「いろは歌」の言語文化的意義を考えている。 【学びに向かう力・人間性等】 ○音読や暗唱に進んで取り組もうとしている。	○ ○ ○	4				
	単元 古文に親しむ 【知識及び技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のまきり、古典特有の表現などについて理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえる。 【学びに向かう力・人間性等】 ・古文を読むことに興味をもち、登場人物の行動や心情を読み取ろうとする。	・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等 「兄のそら寝」 ・繰り返し音読し、古文の読み慣れる。 ・兄と僧たちの行動、心情の移り変わりを読み取る。	○ ○	単元 古文に親しむ 【知識及び技能】 ○歴史的仮名遣いを理解した上で、本文を正確に読んでいる。 【思考力・判断力・表現力等】 ○兄がそら寝をした理由を理解している。 ○なぜ僧たちは「笑ふことかぎりなし」だったのかを理解している。 【学びに向かう力・人間性等】 ○作品に描かれる登場人物の行動や心情から、当時と現代との差異を考えようとしている。	○ ○ ○	6				
	定期考査				○ ○ ○	1				
	単元 ことばと出会う 【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増やし、それらの文化的背景について理解を深める。 【思考力・判断力・表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえる。 【学びに向かう力・人間性等】 ・言葉についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、日常使っている言葉を見つめ直そうとする。	・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等 「言葉の森を育てよう」 ・言葉についての筆者の考えを読み取り、言葉が果たしている役割を理解する。 漢字と仮名の使い分け ・日本語の表記の特色について、筆者の主張をとらえる。 ・表記に興味をもち、調べたり考えたりする。	○ ○	単元 ことばと出会う 【知識及び技能】 ○言葉が生まれる理由について理解している。 ○漢字、ひらがな、カタカナの使い分けが生み出す効果について理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 ○随想の特徴をふまえて、本文が二段落で構成されていることがわかり、筆者の主張を理解している。 ○「言葉の森を育てよう」という題名の意味について理解している。 【学びに向かう力・人間性等】 ○日本語の表記の特色や独自性について、筆者の主張を的確にとらえようとしている。	○ ○ ○	6				
	単元 物語を受け継ぐ 【知識及び技能】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 【思考力・判断力・表現力等】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力・人間性等】 ・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとらえて他者や社会に意欲的に関わろうとする。	・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等 『羅生門』 (参考『今昔物語集』巻第二九第一八) ・小説の構成をとらえ、登場人物の心情の変化を読み取る。 ・元になった古典作品とふまえて、内容を解釈を深める。 ・教科書にあるQRコードを読み取り、音声教材を活用する。	○ ○	単元 物語を受け継ぐ 【知識及び技能】 ○新たな漢字の読み方を自覚しながら本文を音読し、ワークシート等で必要な漢字を用いている。 【思考力・判断力・表現力等】 ○場面ごとに変化する下人の心情を読み取り、作品のテーマについて考えている。 【学びに向かう力・人間性等】 ○比べ読みについて関心を抱き、読書への意欲を高めようとしている。	○ ○ ○	10				
定期考査				○ ○ ○	1					
単元 表現を味わう 【知識及び技能】 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価する。	・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等 「水かまきり」 ・文学作品の描写や会話、特徴のある表現を味わい、登場人物の人間関係や心理を読み取る。 ・オノマトペの表現効果をとらえる。	○ ○	単元 表現を味わう 【知識及び技能】 ○辞書的な語句の意味を理解し、漢字を正しく読み書きしている。 【思考力・判断力・表現力等】 ○本文全体が三つの段落に分かれることを理解し、各場面の展開をとらえている。 ○登場人物の心情とその変化を、本文での描写に即	○ ○ ○	4					

年間授業計画 新様式

若葉総合高等学校 令和 令和4年度 年度 教科 **公民** 科目 **公共**

教科: **公民** 科目: **公共** 単位数: **2** 単位

対象学年組: 第 **1** 学年 **A** 組 ~ **F** 組

教科担当者: (A:堀) (B:玉城) (C:堀) (D:玉城) (E:堀) (F:玉城)

使用教科書: 東京法令出版『公共』

教科	公民	の目標: 社会的な見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
【知識及び技能】	選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	
【思考力、判断力、表現力等】	現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	
【学びに向かう力、人間性等】	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵かん養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。	

科目	公共	の目標: 人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵かん養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
単元 第1編第1章 公共的な空間を作る私たち 【知識及び技能】 人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力・人間性等】 自分自身が、自主的によりよい公共的な空間を作り出していくこととする自立した主体になることが、自らのキャリア形成とともによりよい社会の形成に結び付くことについて、学習を振り返りながら課題を追求しようとしている。	・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等 第1章「公共的な空間をつくる私たち」 ①社会のなかの私たち ②日本の文化と社会 ③青年期とは ④自己形成の課題 ⑤ライフ・キャリアの形成 ⑥社会の多様性 ⑦宗教と文化	単元 第1編第1章 公共的な空間を作る私たち 【知識及び技能】 自分自身が、自主的によりよい公共的な空間を作り出していくこととする自立した主体になることが、自らのキャリア形成とともによりよい社会の形成に結び付くことについて理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力・人間性等】 自分自身が、公共的な空間を作り出していくこととする自立した主体になることについて、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深めている。	○	○	○		
単元 第1編第2章 公共的な空間における人間としての在り方生き方 【知識及び技能】 ・選択・判断の手掛かりとして、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解する。 ・現代の諸課題について自らも他者も共に納得できる解決方法を見出すことに向け、(7)に示す考え方を活用することを通して、行為者自身の人間としての在り方生き方について探求することが、よりよく生きていく上で重要であることについて理解する。 【思考力・判断力・表現力等】	・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等 第2章「公共的な空間における人間としてのあり方・生き方」 ①幸福とは ②自由とは ③正義とは ④公正とは ・視聴覚教材の活用 ・Teamsに配信する課題の提出を適宜、行う。	単元 第1編第2章 公共的な空間における人間としての在り方生き方 【知識及び技能】 ・現代の諸課題について自らも他者も共に納得できる解決方法を見出すことに向け、行為者自身の人間としての在り方生き方について探求することが、よりよく生きていく上で重要であることについて理解している。 【思考力・判断力・表現力等】	○	○	○		

1
学
期

<p>倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し、自らも他者も共に納得できる解決方法を見出すことに向け、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 人間としての在り方生き方に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために、学習を振り返りながら課題を追求しようとしている。</p>		<p>・倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し、自らも他者も共に納得できる解決方法を見出すことに向け、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 ・他者と協働する倫理的主体として個人が判断するための手掛かりとなる考え方についての、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深めている。</p>				
<p>定期考査</p>			○	○		
<p>単元 【知識及び技能】 第1編第3章 公共的な空間における基本的原理と日本国憲法</p> <p>【知識及び技能】 各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解する。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について、学習を振り返りながら課題を追求しようとしている。</p>	<p>・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等</p> <p>第3章「公共的な空間における基本原則と日本国憲法」 ①人間の尊厳と平等 ②民主政治と国民主権 ③消極的自由と公共の福祉 ④積極的自由と義務 ⑤法の支配と人権保障 ⑥平和主義</p> <p>・視聴覚教材の活用 ・Teamsに配信する課題の提出を適宜、行う。</p>	<p>単元 第1編第3章 公共的な空間における基本的原理と日本国憲法</p> <p>【知識及び技能】 人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解している。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など日本国憲法の基礎にある考え方についての、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深めている。</p>	○	○	○	
<p>単元 【知識及び技能】 第2編第1章 日本の政治機構と政治参加</p> <p>【知識及び技能】 現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付ける。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 法、政治などの側面を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 法や規範の意義及び役割、多様な契約及び消費者の権利と責任、司法参加の意義などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて、学習を振り返りながら課題を追求しようとしている。</p>	<p>・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等</p> <p>第1章「日本の政治機構と政治参加」 ①法の機能と限界 ②国会の運営と権限 ③内閣と行政の民主化 ④世界の政治体制</p> <p>・視聴覚教材の活用 ・Teamsに配信する課題の提出を適宜、行う。</p>	<p>単元 第2編第1章 日本の政治機構と政治参加</p> <p>【知識及び技能】 現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 日本の政治機構と政治参加について、幸福・自由・正義・公正などの視点を用いて、事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断し、構想したことを議論している。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 日本の政治機構と政治参加についての、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深めている。</p>	○	○	○	
<p>定期考査</p>			○	○		

<p>単元 【知識及び技能】</p> <p>第2編第1章 日本の政治機構と政治参加</p> <p>【知識及び技能】 現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付ける。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 法、政治などの側面を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 法や規範の意義及び役割、多様な契約及び消費者の権利と責任、司法参加の意義などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて、学習を振り返りながら課題を追求しようとしている。</p>	<p>・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等</p> <p>第1章「日本の政治機構と政治参加」</p> <p>⑤裁判所と人権保障 ⑥私たちと裁判 ⑦地方自治のしくみ ⑧選挙のしくみと課題 ⑨政党政治 ⑩国民と政治参加</p> <p>・視聴覚教材の活用 ・Teamsに配信する課題の提出を適宜、行う。</p>	<p>単元</p> <p>第2編第1章 日本の政治機構と政治参加</p> <p>【知識及び技能】 現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 日本の政治機構と政治参加について、幸福・自由・正義・公正などの視点を用いて、事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断し、構想したことを議論している。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 日本の政治機構と政治参加についての、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深めている。</p>		○	○	○	
<p>単元 【知識及び技能】</p> <p>第2編第2章 経済のしくみ</p> <p>【知識及び技能】 現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付ける。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 経済の側面を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 法や規範の意義及び役割、多様な契約及び消費者の権利と責任、司法参加の意義などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて、学習を振り返りながら課題を追求しようとしている。</p>	<p>・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等</p> <p>第2章「経済のしくみ」</p> <p>①経済活動と私たちの生活 ②市場のしくみ ③市場の失敗 ④現代の企業 ⑤国民所得 ⑥景気変動と物価の動き ⑦財政の役割 ⑧財政の課題 ⑨金融のしくみと働き ⑩中央銀行と金融の自由化</p>	<p>単元</p> <p>第2編第2章 経済のしくみ</p> <p>【知識及び技能】 現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 経済活動に関わる現実社会の諸課題について、幸福・自由・正義・公正などの視点を用いて、事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断し、構想したことを議論している。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。経済活動に関わる現実社会の諸課題についての、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深めている。</p>		○	○	○	
定期考査				○	○		
<p>単元 【知識及び技能】</p> <p>第2編第3章 変化する日本経済</p> <p>【知識及び技能】 現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付ける。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 法、政治及び経済などの側面を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】</p>	<p>・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等</p> <p>第3章「変化する日本経済」</p> <p>①戦後復興から高度経済成長へ ②安定成長からバブル経済へ ③バブル後の日本経済 ④日本の中小企業 ⑤日本の農業問題 ⑥公害の防止と環境保全 ⑦エネルギーと循環型社会</p> <p>第4章「豊かな生活の実現」</p> <p>①私たちの生活と契約 ②消費者主権 ③労働者の権利 ④現代の雇用・労働問題 ⑤社会保障の役割 ⑥社会保障制度の課題</p> <p>・視聴覚教材の活用</p>	<p>単元</p> <p>第2編第3章 変化する日本経済</p> <p>【知識及び技能】 戦後の日本経済の推移などに関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 日本経済に関わる現実社会の諸課題について、幸福・自由・正義・公正などの視点を用いて、事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断し、構想したことを議論している。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】</p>		○	○	○	

2 学 期	法や規範の意義及び役割、多様な契約及び消費者の権利と責任、司法参加の意義などに関する現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解する。		<small>1人1台端末活用</small> ・Teamsに配信する課題の提出を適宜、行う。	日本経済に関わる現実社会の諸課題についての、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深めている。				
	単元 【知識及び技能】 第2編第4章 豊かな生活の実現	・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等	単元 第2編第4章 豊かな生活の実現	【知識及び技能】 ・多様な契約及び消費者の権利と責任などに関する現実社会の事柄や課題について理解している。 ・職業選択、雇用と労働問題、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関する現実社会の事柄や課題について理解している。				
	【知識及び技能】 現実社会の諸課題に関する諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付ける。	第4章「豊かな生活の実現」 ①私たちの生活と契約 ②消費者主権 ③労働者の権利 ④現代の雇用・老童門ちあ ⑤社会保障の役割 ⑥社会保障制度の課題	【知識及び技能】 ・消費生活、労働問題、社会保障に関する現実社会の諸課題について、幸福・自由・正義・公正などの視点をを用いて、事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断し、構想したことを議論している。					
	【思考力・判断力・表現力等】 職業選択、雇用と労働問題、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、などに関する現実社会の事柄や課題を基に、国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する。	・視聴覚教材の活用 ・Teamsに配信する課題の提出を適宜、行う。	【思考力・判断力・表現力等】 ・消費生活、労働問題、社会保障に関する現実社会の諸課題について、幸福・自由・正義・公正などの視点をを用いて、事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断し、構想したことを議論している。					
	【学びに向かう力・人間性等】 多様な契約及び消費者の権利と責任に関する現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて、学習を振り返りながら課題を追求しようとしている。		【学びに向かう力・人間性等】 ・消費生活、労働問題、社会保障に関する現実社会の諸課題についての、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深めている。					
	単元 【知識及び技能】 第2編第5章 国際政治のしくみと動向	・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等	単元 第2編第5章 国際政治のしくみと動向	【知識及び技能】 ・国家主権、領土などに関する現実社会の事柄や課題について理解している。 ・現実社会の諸課題に関する諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。				
	【知識及び技能】 現実社会の諸課題に関する諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付ける。	第5章「国際政治のしくみと動向」 ①国家主権と国際法 ②人権保障の広がり ③国際連合の役割と課題 ④第二次世界大戦後の国際社会 ⑤冷戦終結後の国際社会 ⑥人種・民族・難民問題 ⑦核兵器の廃絶と国際平和 ⑧日本の安全保障の現状 第6章「国際経済のしくみと動向」 ①貿易と国際分業 ②外国為替のしくみと国際収支 ③戦後国際経済の枠組みと変化 ④グローバル化する経済 第7章「国際社会の現状と課題」 ①地域統合の進展 ②南北問題 ③新興市場国 ④地球規模の諸課題 ⑤地球環境問題 ⑥日本の役割	【知識及び技能】 国際政治に関わる現実社会の諸課題について、幸福・自由・正義・公正などの視点をを用いて、事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断し、構想したことを議論している。	○	○	○		
	【思考力・判断力・表現力等】 法、政治及び経済などの側面を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する。	・視聴覚教材の活用 ・Teamsに配信する課題の提出を適宜、行う。	【思考力・判断力・表現力等】 国際政治に関わる現実社会の諸課題について、幸福・自由・正義・公正などの視点をを用いて、事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断し、構想したことを議論している。					
	【学びに向かう力・人間性等】 法や規範の意義及び役割、多様な契約及び消費者の権利と責任、司法参加の意義などに関する現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて、学習を振り返りながら課題を追求しようとしている。		【学びに向かう力・人間性等】 公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚を深めている。					
	定期考査				○	○		

3 学 期	<p>単元 【知識及び技能】</p> <p>第2編第6章 国際経済のしくみと動向</p> <p>【知識及び技能】 現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付ける。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 法、政治及び経済などの側面を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 法や規範の意義及び役割、多様な契約及び消費者の権利と責任、司法参加の意義などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて、学習を振り返りながら課題を追求しようとしている。</p>	<p>・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等</p> <p>第6章「国際経済のしくみと動向」 ①貿易と国際分業 ②外国為替のしくみと国際収支 ③戦後国際経済の枠組みと変化 ④グローバル化する経済 第7章「国際社会の現状と課題」 ①地域統合の進展 ②南北問題 ③新興市場国 ④地球規模の諸課題 ⑤地球環境問題 ⑥日本の役割</p> <p>・視聴覚教材の活用 ・Teamsに配信する課題の提出を適宜、行う。</p>	<p>単元</p> <p>第2編第6章 国際経済のしくみと動向</p> <p>【知識及び技能】 ・貿易と国際分業、外国為替のしくみと国際収支について理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 国際経済に関わる現実社会の諸課題について、幸福・自由・正義・公正などの視点を用いて、事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断し、構想したことを議論している。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 国際社会に関わる現実社会の諸課題についての、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深めている。</p>	○	○	○	
	<p>単元 【知識及び技能】</p> <p>第3編 持続可能な社会をつくるために</p> <p>【知識及び技能】 地域の創造、よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し、共に生きる社会を築くという観点から課題を見出す。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 上記の課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に自分の考えを説明、論述する。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 持続可能な地域、国家・社会及び国際社会づくりに向けた役割を担う、公共の精神をもった自立した主体となることに向けて、幸福、正義、公正などに着目し、学習を振り返りながら課題を追求しようとしている。</p>	<p>・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等</p> <p>「持続可能な社会をつくるために」 ①民主主義を考えよう ②日本の格差問題 ③科学技術の発展 ④外国人との共生</p> <p>・視聴覚教材の活用 ・Teamsに配信する課題の提出を適宜、行う。</p>	<p>単元</p> <p>第3編 持続可能な社会をつくるために</p> <p>【知識及び技能】 民主主義、日本の格差問題、科学技術の発展、外国人との共生などの現実社会の諸課題について、課題解決に向けた必要な知識を理解している。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 地域の創造、よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し、共に生きる社会を築くという観点から課題を見だし、その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に自分の考えを説明、論述している。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	
定期考査				○	○		
							合計

教科	数学	の目標:	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する。
【知識及び技能】	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。		
【思考力、判断力、表現力等】	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明確・的確に表現する力を養う。		
【学びに向かう力、人間性等】	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。		

科目	数学 I	の目標:	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する。
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】	
数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表す力、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元 第1章・数と式 【知識及び技能】 整式に関する基本的な用語を知る。また、整式の整理や基本的な計算、展開や因数分解の公式を身に付け、基本的な式変形を適切に行うことができるようになる。 【思考力・判断力・表現力等】 既に学習した計算方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりできる。 【学びに向かう力・人間性等】 基本的な計算を身に付け、さらに複雑な計算を見通しをもって計算することを通して、粘り強く効率的に問題解決しようとする態度を養う。	・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等 第1章・数と式 第1節・式の計算 教材:教科書、問題集	単元 第1章・数と式 第1節・式の計算 【知識及び技能】 単項式や多項式に関する用語について知り、整式の加法・減法・乗法に関して公式等を利用して計算ができる。 因数分解の公式を理解し、工夫して計算することができる。 【思考力・判断力・表現力等】 工夫することによって、効率的に式の展開をすることができる。 複雑な式についても、項の組み合わせや、式の形の特徴等に注目して因数分解の公式を効果的に活用して計算することができる。 【学びに向かう力・人間性等】 整式の整理や計算について関心を持ち、考察しようとする態度を養う。 やや複雑な展開や因数分解についても、工夫して効率的に解決しようとする態度を養う。	○	○	○	6
	単元 第1章・数と式 【知識及び技能】 数を実数まで拡張することの意義を理解し、簡単な無理数の四則計算ができる。 【思考力・判断力・表現力等】 既に学習した計算方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりできる。 【学びに向かう力・人間性等】 知っていることを体系的に整理し、それらを土台に自らの知識を深めようとする態度を養う。	・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等 第1章・数と式 第2節・実数 教材:教科書、問題集	単元 第1章・数と式 第2節・実数 【知識及び技能】 実数に属する数を整理し、性質による分類とその数の名称を理解できている。 平方根の意味や性質を的確に理解し、基本的な計算ができる。 【思考力・判断力・表現力等】 実数の大小関係や絶対値の意味等を理解し、数直線を用いて考察することができる。 既習事項を活用して根号の計算を効率的に行うことができる。 【学びに向かう力・人間性等】 数の体系に関する既習事項を体系的に整理し、考察しようとする。 根号を含む式の計算に際し、展開の公式等の既習事項をうまく活用しようとする。	○	○	○	4
	単元 第1章・数と式 【知識及び技能】 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、1次不等式の解を求めることができる。 【思考力・判断力・表現力等】 不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察する。また、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、1次不等式を問題解決に活用する。 【学びに向かう力・人間性等】	・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等 第1章・数と式 第3節・1次不等式 教材:教科書、問題集	単元 第1章・数と式 第3節・1次不等式 【知識及び技能】 不等号の意味や、不等式の性質及び解法を理解し、適切に処理することができる。 絶対値の意味を的確に把握し、絶対値を含む方程式・不等式の計算に活用できる。 【思考力・判断力・表現力等】 複雑な形の不等式も的確に表現することができ、身近な問題を不等式に帰着させて解決することができる。 絶対値記号を含むやや複雑な式にも、的確に処理することができる。 【学びに向かう力・人間性等】	○	○	○	5

数学を日常の様々な問題解決を行うための手段として活用しようとする態度を養う。			不等式と等式について、その性質や解法および解の意味を考察しようとする。 絶対値記号を含むやや複雑な方程式や不等式も、解こうとする意欲を持つことができる。					
単元	第2章・集合と命題	・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等 第2章・集合と命題 教材：教科書、問題集	単元	第2章・集合と命題	○	○	○	7
【知識及び技能】 集合と命題に関する基本的な概念を理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 集合の考え方をを用いて論理的に考察し、簡単な命題が証明できる。 【学びに向かう力・人間性等】 論理的に物事を処理する態度を養い、日ごろから論理的思考力をもって問題解決に当たろうとする態度を養う。			【知識及び技能】 集合及び命題に関する基本的な概念を的確に理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 集合及び命題に関する概念から、ものの関係性を的確に表現することができる。 命題の条件や結論に着目し、適切な証明法により命題を証明することができる。 【学びに向かう力・人間性等】 物事を論理的に捉え表現しようと努力している。正面から証明することが困難でも、多角的に捉えることによって解決しようとする態度がある。					
定期考査					○	○		1

2 学 期	<p>単元 第3章・2次関数</p> <p>【知識及び技能】 2次関数の値の変化やグラフの特徴を理解する。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 2次関数の式とグラフの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察する。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 日常の中に関数が密接に関係していることを知り、問題解決に活用しようとする態度を養う。</p>	<p>・指導事項・教材等 一人1台端末の活用</p> <p>第3章・2次関数 第1節・2次関数とグラフ 教材：教科書、問題集 1人1台端末の活用</p>	<p>単元 2次関数 第1節・2次関数</p> <p>【知識及び技能】 1次関数に関する基本的な表現ができ、グラフをかくことができる。 2次関数に関わる式の変形ができ、グラフをかくことができる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 2つの変数の関係性を関数式で表現できる。 2次関数の特徴について、表、式、グラフを相互に関連付けて多面的に考察することができる。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 日常生活の中にもみられる関数の具体例を見つけて考察しようとする。 2次関数の式とグラフの関係性を見出し、積極的に活用する意欲がある。</p>	○	○	○	7
	<p>単元 第3章・2次関数</p> <p>【知識及び技能】 2次関数の最大値・最小値を求めることができる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 2つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察する。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 日常の中に関数が密接に関係していることを知り、問題解決に活用しようとする態度を養う。</p>	<p>・指導事項・教材等 一人1台端末の活用</p> <p>第3章・2次関数 第2節・2次関数の値の変化 教材：教科書、問題集</p>	<p>単元 2次関数 第2節・2次関数の</p> <p>【知識及び技能】 平方完成や定義域を適切に処理し、最大値・最小値を求めることができる。 与えられた条件を関数の式に表現し、2次関数を決定する。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 2次関数の最大・最小を用いて、日常に密接した問題の解決を考えることができる。 与えられた条件を的確に把握し、処理するのに適した式の形を表現して2次関数を決定できる。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 日常生活における具体的な事象の考察に、2次関数の最大・最小の考えを活用しようとしている。 何をもちいて2次関数が1つに決まるのかについて興味関心をもって考察しようとする。</p>	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	<p>単元 第3章・2次関数</p> <p>【知識及び技能】 2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係について理解する。また、2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求めることができる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 2次関数、2次方程式、2次不等式を相互に関連付け、考察することができる。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 物事の関係性を把握しようとする、図をかくなど工夫して理解を進めようとする等といった態度を養う。</p>	<p>・指導事項・教材等 一人1台端末の活用</p> <p>第3章・2次関数 第3節・2次方程式と2次不等式 教材：教科書、問題集</p>	<p>単元 2次関数 第3節・2次方程式と</p> <p>【知識及び技能】 因数分解、解の公式を用いて2次方程式が解ける。 判別式を理解し活用することができる。 2次不等式を解くことができる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 2次関数を基に、2次方程式及び2次不等式について考察することができる。 判別式を的確に活用し、種々の問題解決に当たることができる。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 2次関数を活用し、2次方程式及び2次不等式を解決しようとする意欲がある。 2次不等式を解くときに、図を積極的に利用する。 身近な問題を2次不等式で解決しようとする。</p>	○	○	○	11
定期考査			○	○		1	
3 学 期	<p>単元 第4章・図形と計量</p> <p>【知識及び技能】 鋭角の三角比の意味と相互関係について理解する。 三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解する。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 具体的な事象を三角比の問題として捉え、表現・処理することができる。 既習事項である鋭角の三角比の考え方を基に、鈍角の三角比を的確に捉えて表現できる。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 今まで学んだことのない事柄にも、積極的に学び取ろうとする態度と意欲を養う。 これまでに学習していることも活用し、少しずつ知識を拡張していこうとする態度と意欲を養う。</p>	<p>・指導事項・教材等 一人1台端末の活用</p> <p>第4章・図形と計量 第1節・三角比 教材：教科書、問題集</p>	<p>単元 図形と計量 第1節・三</p> <p>【知識及び技能】 鋭角の三角比の意味が的確に理解できる。 鋭角の三角比から鈍角の三角比まで拡張して考えることができる。 相互関係の式を的確に活用することができる。 三角比の値から角度を求めることができる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 測量に関わる問題に三角比を用いて表現することができ、問題を解決することができる。 既習事項から三角比の相互関係を見出すことができる。 鈍角の場合に拡張するためには、既知である鋭角の三角比をどのように活用すればよいかの判断ができる。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 日常の事象や社会の事象などに三角比を活用しようとする。 既習事項から発展的に新たなことを学ぼうとする意欲や意欲がある。 図を積極的に用いて三角比を発展させようとする。</p>	○	○	○	8
	<p>単元 第4章・図形と計量</p> <p>【知識及び技能】 正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めることができる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現するとともに、定理や公式を導くことができる。また、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりできる。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】</p>	<p>・指導事項・教材等 一人1台端末の活用</p> <p>第4章・図形と計量 第2節・三角形への応用 教材：教科書、問題集</p>	<p>単元 図形と計量 第2節・三角形</p> <p>【知識及び技能】 正弦定理や余弦定理を理解し、それらを活用して三角形の辺の長さや角度を求めることができる。 三角比を用いて三角形の面積を求めることができる。 三角比を空間図形の測量に活用することができる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 既習事項を活用して、正弦定理、余弦定理、面積公式を導くことができる。 空間図形を的確に把握し、どのような見方をして公式を用いればよいかの判断ができる。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】</p>	○	○	○	8

<p>数式の図形的な意味合いを把握し、与えられた条件から適切な式を用いて解決しようとする意欲を養う。 日常の事象や社会の事象などに、三角比の考えを活用しようとする意欲と態度を養う。</p>		<p>正弦定理や余弦定理の図形的な意味を把握し、問題解決に活用しようとしている。 日常の事象や社会の事象などに、三角比の考えを活用しようとしている。</p>				
<p>単元 第5章・データの分析 【知識及び技能】 分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解する。 コンピュータなどの情報機器を用いるなどして、データを表やグラフに整理したり、分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めたりできる。 具体的な事象において仮説検定の考え方を理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察する。 目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現する。 不確実な事象の起こりやすさに着目し、主張の妥当性について、実験などを通して判断したり。批判的に考察したりする。 【学びに向かう力・人間性等】 感覚的に物事を捉えるだけでなく、根拠をもって考察を行う態度を養う。その根拠の1つとして、統計的なもの見方を身に付ける。</p>	<p>・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等 第5章・データの分析 教材：教科書、問題集 1人1台端末の活用</p>	<p>単元 第5章・データの分析 【知識及び技能】 様々な値の定義と意味することを理解し、的確に求めることができる。 【思考力・判断力・表現力等】 様々な値から、そのデータの傾向を判断することができる。 仮説検定の考え方を活用して、身近な事柄に対する考察を行うことができる。 【学びに向かう力・人間性等】 データを整理し全体の傾向を把握しようとする。それぞれの計算結果や図の意味するものを的確に把握して分析に活用しようとする意欲がある。身近な事柄において統計の考え方を活用して判断しようとする態度がある。</p>	○	○	○	7
定期考査			○	○		1
						合計
						74

若葉総合高等学校 令和4年度 教科 数学 科目 数学A

教科: 数学 科目: 数学A 単位数: 2 単位

対象学年組: 第1学年 A組～ F組

教科担当者: (A, E: 柏木秀也) (D: 柁津朋彦) (B, C, F: 田村命史)

使用教科書: 数研出版 新編 数学A

教科	数学	の目標:	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
【知識及び技能】	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。		
【思考力、判断力、表現力等】	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。		
【学びに向かう力、人間性等】	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。		

科目	数学A	の目標:	図形の性質、場合の数と確率について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。
【知識及び技能】	図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	【思考力、判断力、表現力等】	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見いだし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学的構造を見いだし、数理的に考察する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。		

1学期	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	単元 第1章 場合の数と確率 【知識及び技能】 場合の数を求めるときの基本的な考え方についての理解を深める。 【思考力・判断力・表現力等】 場合の数を求めるときの基本的な考え方を事象の考察に活用できるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項・教材等 一人1台端末の活用等 準備 集合 第1節 場合の数 1. 集合の要素の個数	単元 第1章 場合の数と確率 【知識及び技能】 ○和集合や補集合について理解し、その要素の個数を求めることができる。 ○和集合、補集合の要素の個数の公式を利用できる。 ○ベン図を利用することで、和集合や補集合の要素の個数を求めることができる。 【思考力・判断力・表現力等】 ○ベン図を利用して集合を図示することで、集合の要素の個数を考察することができる。 【学びに向かう力・人間性等】 ○集合を考えることで、日常的な事柄などを、集合の要素の個数として数学的に数えようとする。 ○表を作って集合の要素の個数を求める方法に興味を示し、それを利用しようとする。	○	○	○	6
単元 第1章 場合の数と確率 【知識及び技能】 場合の数を求めるときの基本的な考え方についての理解を深める。 【思考力・判断力・表現力等】 場合の数を求めるときの基本的な考え方を事象の考察に活用できるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項・教材等 一人1台端末の活用等 第1節 場合の数 2. 場合の数	単元 第1章 場合の数と確率 【知識及び技能】 ○具体的な日常の事象に対して、集合を考えることで、人数などを求めることができる。 ○樹形図を用いて、場合の数をめもれなくかつ重複なく数えることができる。 ○和の法則、積の法則の利用場面を理解し、事象に応じて使い分けて場合の数を数えることができる。 【思考力・判断力・表現力等】 ○場合の数を数える適切な方針を考察することができる。 ○自然数の正の約数の個数を数える方法を考察することができる。 【学びに向かう力・人間性等】 ○道順の数え方に興味を示し、樹形図、和の法則や対称性などによる場合の数の数え方に関心をもつ。 ○自然数の正の約数の個数を数えること、式の展開を利用して約数が列挙できることに興味を示す。	○	○	○	5	
定期考査				○	○		
単元 第1章 場合の数と確率 【知識及び技能】 場合の数を求めるときの基本的な考え方についての理解を深める。 【思考力・判断力・表現力等】 場合の数を求めるときの基本的な考え方を事象の考察に活用できるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項・教材等 一人1台端末の活用等 第1節 場合の数 3. 順列 4. 組合せ	単元 第1章 場合の数と確率 【知識及び技能】 ○順列の総数、階乗を記号で表し、それを活用できる。 ○順列、円順列、重複順列の公式を理解し、利用することができる。 ○順列、円順列に条件が付く場合に、条件の処理の仕方を理解している。 ○組合せの総数を記号で表し、それを活用できる。また、組合せの公式を理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 ○条件が付く順列、円順列を、見方を変えたり別ものに対応させたりして処理することができる。 ○既知の順列や積の法則をもとにして、円順列、重複順列を考察することができる。 【学びに向かう力・人間性等】 ○既知である種の法則から順列の総数を求める式を導こうとする。 ○色の塗り分けの方法を数えるのに、順列の考え方が使えることに興味・関心をもつ。 ○順列、円順列、重複順列の違いに興味・関心をもつ。	○	○	○	8	
単元 第1章 場合の数と確率 【知識及び技能】 場合の数を求めるときの基本的な考え方についての理解を深める。 【思考力・判断力・表現力等】 場合の数を求めるときの基本的な考え方を事象の考察に活用できるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項・教材等 一人1台端末の活用等 第2節 確率 5. 事象と確率 6. 確率の基本的性質	単元 第1章 場合の数と確率 【知識及び技能】 ○確率の意味、試行や事象の定義を理解している。 ○試行の結果を事象として表すことができる。 ○確率の定義を理解し、確率の求め方がわかる。 ○積事象、和事象の定義を理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 ○試行の結果を事象として捉え、事象を集合と結びつけて考察することができる。 ○不確定な事象を、同様に確からしいという概念をもとに、数量的に捉えることができる。 【学びに向かう力・人間性等】 ○1個のさいころを繰り返し投げた実験などを通して、統計的確率と数学的確率の違いに興味・関心をもつ。 ○加法定理などを利用して、複雑な事象の確率を意図的に求めようとする。	○	○	○	8	
定期考査				○	○		

2 学 期	<p>単元 第1章 場合の数と確率</p> <p>【知識及び技能】 場合の数を求めるときの基本的な考え方についての理解を深める。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 場合の数を求めるときの基本的な考え方を事象の考察に活用できるようにする。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>	<p>・指導事項・教材等 第2節 確率 7. 独立な試行と確率 8. 条件付き確率 9. 期待値</p>	<p>単元 第1章 場合の数と確率</p> <p>【知識及び技能】 ○独立な試行の確率を、公式を用いて求めることができる。 ○複雑な独立試行の確率を、公式や加法定理などを用いて求めることができる。 ○反復試行の確率を、公式を用いて求めることができる。 【思考力・判断力・表現力等】 ○独立な試行の確率を、具体的な例から直感的に考えることができる。 ○既習の確率の知識を利用して、反復試行の確率について考察することができる。 ○既習の確率と条件付き確率の違いについて、図や表などを用いて考察することができる。 【学びに向かう力・人間性等】 ○独立な試行の確率について、興味をもって調べようとする。 ○具体的事象について、反復試行の確率を、興味をもって調べようとする。 ○条件付き確率や確率の乗法定理の考えに興味・関心をもち、積極的に活用しようとする。</p>	○	○	○	11
	<p>単元 第2章 図形の性質</p> <p>【知識及び技能】 平面図形の性質についての理解を深める。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 平面図形の性質を事象の考察に活用できるようにする。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>	<p>・指導事項・教材等 第1節 平面図形 1. 三角形の辺の比 2. 三角形の外心・内心・重心</p>	<p>単元 第1章 場合の数と確率</p> <p>【知識及び技能】 ○線分の内分・外分、平行線と比などの基本事項を理解している。 ○定理を適切に利用して、線分の比や長さを求めることができる。 ○三角形の外心、内心、重心の定義、性質を理解している。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 ○図形の性質を証明するのに、既習事項を用いて論理的に考察することができる。また、適切な補助線を引いて考察することができる。 ○図形の性質を証明するのに、間接的な証明法である同一法が理解できる。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 ○線分を内分・外分する点や、三角形の角の二等分線と比について調べようとする態度がある。 ○三角形の外心、内心、重心に関する性質に興味を示し、積極的に考察しようとする。</p>	○	○	○	6
	定期考査			○	○		
	<p>単元 第2章 図形の性質</p> <p>【知識及び技能】 平面図形の性質についての理解を深める。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 平面図形の性質を事象の考察に活用できるようにする。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>	<p>・指導事項・教材等 第1節 平面図形 3. チェバの定理・メネラウスの定理 4. 円に内接する四角形 5. 円と直線</p>	<p>単元 第2章 図形の性質</p> <p>【知識及び技能】 ○チェバの定理、メネラウスの定理を理解している。 ○チェバの定理、メネラウスの定理を、三角形に現れる線分比を求める問題に活用できる。 ○三角形の存在条件や、辺の角の大小関係について理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 ○チェバの定理、メネラウスの定理について、論理的に考察し、証明することができる。 ○円と直線を動的にとらえて、それらの位置関係を考察することができる。 ○円と直線の定理について、対象とする図形に応じて見方を変えて考えることができる。 【学びに向かう力・人間性等】 ○チェバの定理、メネラウスの定理に興味を示し、積極的に考察しようとする。 ○三角形の辺の角の大小関係という明らかに見える性質を、論理的に考察しようとする。</p>	○	○	○	10
<p>単元 第2章 図形の性質</p> <p>【知識及び技能】 平面図形の性質についての理解を深める。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 平面図形の性質を事象の考察に活用できるようにする。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>	<p>・指導事項・教材等 第1節 平面図形 6. 2つの円 7. 作図</p>	<p>単元 第2章 図形の性質</p> <p>【知識及び技能】 ○2つの円が内接しているとき成り立つ性質を利用して角度を求めることができる。 ○共通接線の定義を理解し、その長さの求め方がわかる。 ○中学校で学んだ垂線の作図を知っている。 【思考力・判断力・表現力等】 ○2つの円を動的にとらえて、それらの位置関係を考察することができる。 ○平行線と線分の比の性質を利用して、内分点・外分点の作図の方法や、b/aや ab の長さをもつ線分の作図の方法を考察することができる。 【学びに向かう力・人間性等】 ○2つの円の位置関係と、中心間の距離と半径の関係を積極的に考察しようとする。 ○数学で扱う作図と、日常において図形をかくことでは、何が違うか考えてみようとする。</p>	○	○	○	6	
定期考査			○	○			
3 学 期	<p>単元 第2章 図形の性質</p> <p>【知識及び技能】 空間図形の性質についての理解を深める。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 空間図形の性質を事象の考察に活用できるようにする。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>	<p>・指導事項・教材等 第2節 空間図形 8. 直線と平面 9. 空間図形と多面体</p>	<p>単元 第2章 図形の性質</p> <p>【知識及び技能】 ○空間における2直線の位置関係やなす角を理解している。 ○正多面体の特徴を理解し、それに基づいて面、頂点、辺の数を求めることができる。 ○正多面体どうしの関係を利用して、正多面体の体積を求めることができる。 【思考力・判断力・表現力等】 ○空間における直線と平面が垂直になるための条件を、与えられた立体に当てはめて考察することができる。 ○空間における直線と平面が平行または垂直となるかどうかを、与えられた条件から考察することができる。 【学びに向かう力・人間性等】 ○空間における図形の位置関係について、積極的に考えてみようとする。 ○オイラーの多面体定理がどんな凸多面体でも成り立つかどうか調べてみようとする。 ○オイラーの多面体定理を利用すると、正多面体の面の数から面の数が限定されることを考察しようとする。</p>	○	○	○	10
	定期考査			○	○		
合計							70

若葉総合高等学校 令和4年度 教科 理科 科目 生物基礎

教科: 理科 科目: 生物基礎 単位数: 2 単位

対象学年組: 第1学年 A組~ F組

教科担当者: (A・B:児玉 恵美)(C・D・E・F:須山 康弘)

使用教科書: 生物基礎 東京書籍

教科	理科	の目標:	自然の事物現象を、科学的な視点で捉え科学的な思考を道いて考える。
【知識及び技能】	自然の事物・現象に対する関心や探究心を高める。		
【思考力、判断力、表現力等】	目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力と態度を育てる。		
【学びに向かう力、人間性等】	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な自然観を育成する。		

科目	生物基礎	の目標:	日常生活や社会との関連を生物や生物現象への関心を高めるとともに科学的な見方や考え方を養う。
	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高める。	目的意識をもって観察、実験を行い、生物学的に探究する能力と態度を育てる。		生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。

1学期	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	単元 生物の多様性と共通性 【知識及び技能】 ・DNA、ATP、細胞構造などの生物の共通性を理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・生物のもつ共通性の由来、多様性の由来について説明できる。 【学びに向かう力・人間性等】 ・生物のもつ特徴としての多様性と共通性に関心をもつ。	・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等 ・真核細胞の構造について理解する。 ・原核細胞の構造について理解する。 ・原核細胞、動物の真核細胞、植物の真核細胞の構造を比較し、共通性について考える。 ・単細胞生物と多細胞生物について理解し、これらの生物の細胞はどのように生命を維持しているのかについて考える。 ・さまざまな細胞とその大きさについて理解する。	単元 生物の多様性と共通性 【知識及び技能】 ・章末問題の演習問題1, 2に答えさせる。 【思考力・判断力・表現力等】 ・生物のもつ共通性と多様性が生物の進化に基づくことを説明させる。 【学びに向かう力・人間性等】 ・生物の多様性と共通性との関連を説明させる。	○	○	○	5
	単元 エネルギーと代謝 【知識及び技能】 ・生命活動の中でATPや酵素がどのような役割を担っているかを理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・エネルギーの視点から、ATPや、触媒である酵素について説明できる。 【学びに向かう力・人間性等】 ・生命活動のエネルギーがどのようなものであるか興味・関心をもつ。	・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等 ・生命活動にエネルギーが必要であることを理解する。 ・ATPが呼吸や光合成などの生体内でのエネルギーの受け渡しに必ず関係していることを理解する。 ・ATPの構造が、アデニンとリボースが結合したアデノシンに、3つのリン酸が結合した物質であることを理解する。 ・ATPのリン酸どうしの結合に生命活動に利用できるエネルギーが蓄えられていることを理解する。 ・生物が、同化によってエネルギーを蓄え、異化によってエネルギーをとり出していることを理解する。 ・同化や異化の代謝の過程で生じるエネルギーの授受にATPが利用されていることを理解する。	単元 エネルギーと代謝 【知識及び技能】 ・章末問題の演習問題3に答えさせる。 【思考力・判断力・表現力等】 ・酵素によって生体内の化学反応が調節されていることを説明させる。 【学びに向かう力・人間性等】 ・生命活動でエネルギーが扱われていることを図10「代謝とエネルギー」や図13「ATPとエネルギーの利用」などを用いて、生徒間で意見交換を行わせる。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	単元 光合成と呼吸 【知識及び技能】 ・葉緑体での光合成、ミトコンドリアでの呼吸を生命活動のエネルギーと関連づけて理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・葉緑体とミトコンドリアが進化の過程で細胞内共生によって成立したことを説明できる。 【学びに向かう力・人間性等】 ・エネルギーを扱う葉緑体とミトコンドリアについて興味・関心をもつ。	・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等 ・呼吸におけるグルコースの分解反応の概要とATPの合成について理解する。 ・呼吸と燃焼の違いを理解する。 ・光合成におけるグルコースの合成反応の概要とATPの合成について理解する。 ・真核細胞内では、光合成は葉緑体で行われ、原核細胞では細胞質で行われることを理解する。	単元 光合成と呼吸 【知識及び技能】 ・章末問題の演習問題4に答えさせる。 【思考力・判断力・表現力等】 ・葉緑体とミトコンドリアの由来とその根拠について説明させる。 【学びに向かう力・人間性等】 ・生命活動の単位となる細胞内でエネルギーを扱う葉緑体とミトコンドリアのはたらきについて図19「エネルギーの流れとATP」などを用いて、生徒間で意見交換を行わせる。	○	○	○	3
	単元 遺伝情報とDNA 【知識及び技能】 DNAの構造を理解し、さらにその構造的特徴が遺伝情報を担う物質として機能することを理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 生物がDNAという共通の分子を遺伝子の本体としているにもかかわらず、多様な情報を保持しているしくみについて説明できる。 【学びに向かう力・人間性等】 DNAという分子のどこに遺伝情報が存在するのかについて、興味・関心をもつ。	・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等 ・遺伝子とその働きについて、遺伝情報とDNAのことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・遺伝子とその働きについて、観察、実験などを通して探究し、遺伝情報を担う物質としてのDNAを見いだして表現する。 ・遺伝子とその働きに関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	単元 遺伝情報とDNA 【知識及び技能】 ・章末問題の演習問題1, 2などに答えさせる。 【思考力・判断力・表現力等】 塩基配列に遺伝情報があるという結論を導き、その理由を説明させる。 【学びに向かう力・人間性等】 遺伝情報を担っているDNAとはどのような構造的特徴をもつ物質であるかということについて、図2~5などを用いて、生徒間で意見交換させる。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	単元 遺伝情報の発現 【知識及び技能】 ・多種多様なタンパク質の性質はアミノ酸の配列によって決定されること、またその配列はDNAの塩基配列によって指定されていることを理解し、DNAが遺伝子として機能することを理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・タンパク質の多様性(アミノ酸配列)とDNAの多様性(塩基配列)の関連について考察できる。	・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等 ・DNAの遺伝情報は、まずmRNAに転写された後、アミノ酸に翻訳されることで発現するという流れ(セントラルドグマ)を理解する。 ・RNAとDNAの特徴の違いを理解する。 ・デオキシリボースとリボースの違いについて理解を深める。 ・転写の過程について理解する。 ・翻訳の過程について理解する。	単元 遺伝情報の発現 【知識及び技能】 整理の問題「2 遺伝情報の発現」の①~⑦に答えさせる。 【思考力・判断力・表現力等】 「遺伝情報の転写と翻訳」が示す、タンパク質とDNAの関係を科学的に考察し、その関係を表現させる。	○	○	○	6

2 学 期	【学びに向かう力・人間性等】 ・生命活動を支えるタンパク質の多様性に関心を持ち、DNAからタンパク質が合成される過程を意欲的に知ろうとする。	・mRNAの塩基3つの組をトリプレットと呼び、各トリプレットがそれぞれアミノ酸に対応していることを理解する。	【学びに向かう力・人間性等】 ・転写・翻訳という遺伝子発現の過程について図13「遺伝情報の転写と翻訳」などを用いて、生徒間で意見交換を行わせる。				
	単元 遺伝情報の分配 【知識及び技能】 ・遺伝情報を担うDNAの分配を細胞周期と関連づけて理解できているか。 ・細胞の分化を遺伝子発現と関連づけて理解できているか。 【思考力・判断力・表現力等】 ・体細胞分裂における染色体の動向をDNAの複製および分配と関連づけて説明できる。 ・遺伝情報の発現と細胞の分化の関係を科学的に考察できる。	・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等 ・塩基の相補性によりDNAが正確に複製されることを理解する。 ・DNAの複製のしくみは、原核生物、真核生物を問わず、すべての生物で共通していることを理解する。 考えてみよう 大腸菌のゲノムの複製にかかる時間 ・大腸菌の全ゲノムの複製にかかる時間を考えて（計算）する。 ・細胞周期の間にDNAの複製が行われ、分裂期にDNAが等しく分配され、結果としてどの細胞でも同じ遺伝情報をもつことを理解する。 書いてみよう DNAの構造を図で整理 ・ここまで学習した用語を使って、DNAの構造を図で整理する。	単元 遺伝情報の分配 【知識及び技能】 ・章末問題の演習問題4などに答えさせる。 ・DNA、遺伝子、ゲノムそれぞれの語句が示す意味をまとめさせる。 【思考力・判断力・表現力等】 ・図16および17をもとにして、細胞周期とDNA量の変化を関連づけて的確に説明させる。 ・染色体の一部にバフが見られることと遺伝子発現を関連づけて説明させる。	○	○	○	6
	【学びに向かう力・人間性等】 ・遺伝情報が分配されるしくみを細胞分裂における染色体の動きと関連づけて学ぼうとする。 ・個体が発生する過程で同じ遺伝情報をもっているが、それぞれ異なった細胞へと分化していく現象に関心を持ち、そのしくみを意欲的に考える。		【学びに向かう力・人間性等】 ・遺伝情報の分配と分化した細胞での遺伝子のはたらきについて、図16「細胞周期とDNAの複製・分配」や図19「分化した細胞での遺伝子発現」などを用いて、生徒間で意見交換を行わせる。				
	定期考査			○	○		1
	単元 体内環境としての体液 【知識及び技能】 体内環境とその恒常性について理解し、体液の種類とそれらの役割・酸素運搬のしくみや血液凝固について理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ヒトの3種類の体液の違いと体液の循環を説明できる。血液循環、血液凝固について説明できる。 【学びに向かう力・人間性等】 生命を支える器官系のはたらきを確かめ、それらが体液で満たされた体内環境の中ではたらいっていることを実感する。	・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等 ・体内環境と体液の関係について理解する。 ・消化管や気管は体内にありながら、その内腔が外界との境界であることから体外環境に分類されることを理解する。	単元 体内環境としての体液 【知識及び技能】 整理の問題「1 体内環境としての体液」の①～⑤に答えさせる。 【思考力・判断力・表現力等】 組織液、血液、リンパ液の関係を説明させる。血液の循環経路を説明させる。血液凝固のようすを説明させる。 【学びに向かう力・人間性等】 自分のからだの器官系のはたらきと、自分の体液はどのようにして確かめられるか、生徒間で意見交換を行わせる。	○	○	○	6
	単元 腎臓と肝臓、神経とホルモン 【知識及び技能】 腎臓、肝臓の構造と機能、恒常性に果たす役割を理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 腎臓、肝臓の働き、自律神経系、内分泌系の働きを比較しながら説明できる。 【学びに向かう力・人間性等】 日常生活における体液の持つ栄養や水分の関与に興味を持ち、自律神経、ホルモンによる調節を知る。	・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等 ・神経系と内分泌系による調節について、情報の伝達のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・情報の伝達に関する事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究する態度と、生命を尊重する態度を養う。	単元 臓と肝臓、神経とホルモンによる調節 【知識及び技能】 整理の問題「2 腎臓と肝臓による調節」の①～⑥、「3 神経とホルモンによる調節」の①～⑥に答えさせる。 【思考力・判断力・表現力等】 腎臓の構造と尿の生成・水分量の調節の関係を説明させる。尿の成分濃度や尿量などについて、数量的に算出させる。肝臓とさまざまな器官の結びつきを説明させる。腎臓と肝臓の役割分担について説明させる。自律神経系と内分泌系の違いを説明させる。フィードバック調節を図を用いて説明させる。血糖濃度の調節を説明させる。 【学びに向かう力・人間性等】 食物と水分の摂取と糞や尿の排出が、体内環境の維持との関係を生徒間で意見交換を行わせる。表「自律神経の作用」に記載されているからだの変化が、どのようなときにおこるのかについて、生徒間で意見交換を行わせる。	○	○	○	6
	単元 自然免疫と適応免疫のしくみとはたらく細胞の役割を理解する。免疫を利用した医療行為や免疫の異常で起こる疾病を理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 食作用を説明できる。食細胞とリンパ球の異物、抗原の認識のしかたを比較して説明できる。適応免疫のしくみを説明できる。免疫記憶を説明できる。 【学びに向かう力・人間性等】 腫は何か、病気にかかるとは、エイズやアレルギーとは、について教科書の記述から導き出そうとする。	・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等 ・免疫、免疫の働きを理解し、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・免疫について、観察、実験などを通して探究し、異物を排除する防御機構が備わっていることを見いだし表現する。 ・免疫の働きに関する事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	単元 免疫 【知識及び技能】 整理の問題「4 免疫」の①～⑥に答えさせる。 【思考力・判断力・表現力等】 異物を攻撃するしくみを説明させる。自然免疫の異物の認識と適応免疫の抗原の認識の違いを説明させる。適応免疫のしくみと免疫記憶が生じるしくみを説明させる。 【学びに向かう力・人間性等】 日常生活において感染症が伝染すること、一度かかった病気にかからないということ、ワクチンなどで予防することを体験に基づいた情報交換を行わせる。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	単元 植生の成り立ちと移り変わり 【知識及び技能】 優占種や相親、階層構造、植生と土壌の発達を理解する。植生遷移のしくみと過程を理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 植生を優占種、相親で説明できる。階層構造を説明できる。土壌中の種子から説明する。 【学びに向かう力・人間性等】 植生を優占種や相親から分類する態度を養う。階層構造、植生と土壌の関与に興味・関心をもつ。植生の遷移を積極的に考えようとする。	・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等 ・植生と遷移について、植生と遷移のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・植生と遷移について、観察、実験などを通して探究し、遷移の要因を見いだして表現する。	単元 植生の成り立ちと移り変わり 【知識及び技能】 整理の問題「1 植生とその成り立ち」の①～⑤、章末問題の演習問題2、章末問題の演習問題2などに答えさせる。 【思考力・判断力・表現力等】 植生を優占種と相親でとらえさせる。階層構造と環境条件の変化の関連を説明させる。競争を、その帰結として遷移となることを説明させる。 【学びに向かう力・人間性等】 植生を分類させる。植生が階層構造を形成に関して生徒間で意見交換を行わせる。植生の遷移について、生徒間で意見交換を行わせる。	○	○	○	6
	単元 気候とバイオーム 【知識及び技能】 ・世界および日本に見られるさまざまなバイオームが気温と降水量の違いに起因して成立していることを理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・バイオームの分布とその分布に影響を与える環境要因について説明できる。 【学びに向かう力・人間性等】 ・世界および日本のバイオームの分布について興味を持ち、その成立の要因について考える態度を身に付ける。	・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等 ・植生と遷移に関する事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	単元 気候とバイオーム 【知識及び技能】 ・章末問題の演習問題3、4などに答えさせる。 【思考力・判断力・表現力等】 ・気温と降水量という要因が、バイオームの成立にどのように関連しているかを説明させる。 【学びに向かう力・人間性等】 ・バイオームの分布と成立する環境要因について、生徒間で意見交換を行わせる。	○	○	○	5
	3 学 期						

若菜総合高等学校 令和 令和4年度 教科 保健体育 科目 体育

教科: 保健体育 科目: 体育 単位数: 2 単位
対象学年組: 別年 学年 A組 ~ F組
教科担当: (根本 泰原・前田・丸木)
使用教科書: 大修館書店 ステアアップ

Table with 2 columns: 教科 (保健体育) and 科目 (体育). It lists the purpose of the subject, learning objectives, and evaluation methods.

記入の仕方
① ■色のセルは「課中情報入力シート」へ入力してください。自動で反映します。
② ■色のセルは各自で入力してください。
白色のシートのロックをしています。変更することはできません。
③ シートのロックを解除する場合
校閲
↓
シート保護の解除
↓
ロック解除 (パスワードはありません)
④ 誤入力を防ぐため、シートをロックする場合
校閲
↓

Table with 2 columns: 運動的・身体的な目標 and 学習に向かう方・人間性等. It details the goals and learning outcomes for physical education.

Main table with 7 columns: 単元的な具体的目標, 指導項目・内容, 詳細標準, 知, 思, 感, 記述. It contains detailed lesson plans for various sports like basketball, swimming, and badminton.

若葉総合高等学校 令和 令和4年 年度 教科 **保健体育** 科目 **保健**

教科: **保健体育** 科目: **保健** 単位数: **1** 単位

対象学年組: 第 **1** 学年 **A** 組~ **F** 組

教科担当者: (A D:栗原) (E F:前田) (B C:榎本)

使用教科書: **大修館**

教科 **保健体育**

の目標: 体育や保健の見方・考え方を働かせ、「課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体とていて捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成する

【知識及び技能】 個人及び社会生活における、健康・安全について:理解を深めるとともに、技能を身に付けることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し、判断するとともに、目的や状況に置応じて他者に伝える力を身に付けることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を身に付けることができる。

科目 **保健**

の目標: 保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成する

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代社会と健康について理解を深めること ・健康の考え方 ・現代の感染症とその予防 ・生活習慣病などの予防と回復 ・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 ・精神疾患の予防と回復	現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を志向し判断するとともに、それらを表現すること	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を身に付けることができる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>単元 現代社会と健康</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> さまざまな健康の考え方について例をあげて説明できる。 健康を成り立たせている要因について例をあげて説明できる。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康の考え方について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見できる。 国民の健康課題について、我が国の健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し、生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理できる。 健康の考え方について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。 <p>【学びに向かう力・人間性等】</p> <p>健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組む態度を育てる</p>	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項・教材 等 一人1台端末の活用 <p>健康の考え方と成り立ち 私たちの健康のすがた</p> <p>教科書 ワークシート 一人一台端末の活用 他</p>	<p>単元 現代社会と健康</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 我が国の死亡率、受療率、平均寿命、健康寿命など各種の指標や疾病構造の変化を通して国民の健康課題について、理解したことを言ったり書いたりしている。 健康水準、及び疾病構造の変化には、科学技術の発達、及び生活様式や労働形態を含む社会の状況が関わっていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康の考え方について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 国民の健康課題について、我が国の健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し、生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理している。 健康の考え方について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 <p>【学びに向かう力・人間性等】</p> <p>健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>				3

1 学 期	<table border="1"> <tr> <th>単元</th> <th>現代社会と健康</th> </tr> <tr> <td> 【知識及び技能】 がん、脳血管疾患、虚血性心疾患、高血圧症、脂質異常症、糖尿病などのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること、定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりできる。 ・がんは、肺がん、大腸がん、胃がんなど様々な種類があり、生活習慣のみならず細菌やウイルスの感染などの原因もあることについて、理解したことを言ったり書いたりできる。 ・生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりできる。 </td> <td> ・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等 生活習慣病の予防と回復 がんの原因と予防 がんの治療と回復 運動と健康 食事と健康 休養・睡眠と健康 教科書 ワークシート 一人一台端末の活用 他 </td> </tr> <tr> <td> 【思考力・判断力・表現力等】 ・生活習慣病などの予防と回復について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見できる。 ・生活習慣病などの予防と回復について、習得した知識を基に自他の生活習慣や社会環境を分析し、リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組や社会的な対策を整理できる。 ・生活習慣病などの予防と回復について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。 </td> <td> 【学びに向かう力・人間性等】 生活習慣病とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組める。 </td> </tr> <tr> <td>定期考査</td> <td></td> </tr> </table>	単元	現代社会と健康	【知識及び技能】 がん、脳血管疾患、虚血性心疾患、高血圧症、脂質異常症、糖尿病などのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること、定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりできる。 ・がんは、肺がん、大腸がん、胃がんなど様々な種類があり、生活習慣のみならず細菌やウイルスの感染などの原因もあることについて、理解したことを言ったり書いたりできる。 ・生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりできる。	・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等 生活習慣病の予防と回復 がんの原因と予防 がんの治療と回復 運動と健康 食事と健康 休養・睡眠と健康 教科書 ワークシート 一人一台端末の活用 他	【思考力・判断力・表現力等】 ・生活習慣病などの予防と回復について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見できる。 ・生活習慣病などの予防と回復について、習得した知識を基に自他の生活習慣や社会環境を分析し、リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組や社会的な対策を整理できる。 ・生活習慣病などの予防と回復について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。	【学びに向かう力・人間性等】 生活習慣病とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組める。	定期考査		<table border="1"> <tr> <th>単元</th> <th>現代社会と健康</th> </tr> <tr> <td> 【知識及び技能】 がん、脳血管疾患、虚血性心疾患、高血圧症、脂質異常症、糖尿病などを適宜取り上げ、これらの生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること、定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・がんは、肺がん、大腸がん、胃がんなど様々な種類があり、生活習慣のみならず細菌やウイルスの感染などの原因もあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 </td> <td> ・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等 生活習慣病の予防と回復 がんの原因と予防 がんの治療と回復 運動と健康 食事と健康 休養・睡眠と健康 教科書 ワークシート 一人一台端末の活用 他 </td> </tr> <tr> <td> 【思考力・判断力・表現力等】 ・生活習慣病などの予防と回復について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・生活習慣病などの予防と回復について、習得した知識を基に自他の生活習慣や社会環境を分析し、リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組や社会的な対策を整理している。 ・生活習慣病などの予防と回復について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 </td> <td> 【学びに向かう力・人間性等】 生活習慣病とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 </td> </tr> <tr> <td>定期考査</td> <td></td> </tr> </table>	単元	現代社会と健康	【知識及び技能】 がん、脳血管疾患、虚血性心疾患、高血圧症、脂質異常症、糖尿病などを適宜取り上げ、これらの生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること、定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・がんは、肺がん、大腸がん、胃がんなど様々な種類があり、生活習慣のみならず細菌やウイルスの感染などの原因もあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等 生活習慣病の予防と回復 がんの原因と予防 がんの治療と回復 運動と健康 食事と健康 休養・睡眠と健康 教科書 ワークシート 一人一台端末の活用 他	【思考力・判断力・表現力等】 ・生活習慣病などの予防と回復について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・生活習慣病などの予防と回復について、習得した知識を基に自他の生活習慣や社会環境を分析し、リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組や社会的な対策を整理している。 ・生活習慣病などの予防と回復について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。	【学びに向かう力・人間性等】 生活習慣病とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	定期考査		7
	単元	現代社会と健康																	
【知識及び技能】 がん、脳血管疾患、虚血性心疾患、高血圧症、脂質異常症、糖尿病などのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること、定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりできる。 ・がんは、肺がん、大腸がん、胃がんなど様々な種類があり、生活習慣のみならず細菌やウイルスの感染などの原因もあることについて、理解したことを言ったり書いたりできる。 ・生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりできる。	・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等 生活習慣病の予防と回復 がんの原因と予防 がんの治療と回復 運動と健康 食事と健康 休養・睡眠と健康 教科書 ワークシート 一人一台端末の活用 他																		
【思考力・判断力・表現力等】 ・生活習慣病などの予防と回復について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見できる。 ・生活習慣病などの予防と回復について、習得した知識を基に自他の生活習慣や社会環境を分析し、リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組や社会的な対策を整理できる。 ・生活習慣病などの予防と回復について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。	【学びに向かう力・人間性等】 生活習慣病とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組める。																		
定期考査																			
単元	現代社会と健康																		
【知識及び技能】 がん、脳血管疾患、虚血性心疾患、高血圧症、脂質異常症、糖尿病などを適宜取り上げ、これらの生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること、定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・がんは、肺がん、大腸がん、胃がんなど様々な種類があり、生活習慣のみならず細菌やウイルスの感染などの原因もあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等 生活習慣病の予防と回復 がんの原因と予防 がんの治療と回復 運動と健康 食事と健康 休養・睡眠と健康 教科書 ワークシート 一人一台端末の活用 他																		
【思考力・判断力・表現力等】 ・生活習慣病などの予防と回復について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・生活習慣病などの予防と回復について、習得した知識を基に自他の生活習慣や社会環境を分析し、リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組や社会的な対策を整理している。 ・生活習慣病などの予防と回復について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。	【学びに向かう力・人間性等】 生活習慣病とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。																		
定期考査																			
	<table border="1"> <tr> <th>単元</th> <th>現代社会と健康</th> </tr> <tr> <td> 【知識及び技能】 ・喫煙や飲酒は、生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねること、喫煙や飲酒による健康課題を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観の育成などの個人への働きかけ、及び法的な整備も含めた社会環境への適切な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりできる。 ・コカイン、MDMA などの麻薬、覚醒剤、大麻、など、薬物の乱用は、心身の健康、社会の安全などに対して深刻な影響を及ぼすことから、決して行ってはならないことについて、理解したことを言ったり書いたりできる。 ・薬物乱用を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観や規範意識の育成などの個人への働きかけ、及び法的な規制や行政的な対応など社会環境への対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりできる。 </td> <td> ・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等 喫煙と健康 飲酒と健康 薬物乱用と健康 教科書 ワークシート 一人一台端末の活用 他 </td> </tr> <tr> <td> 【思考力・判断力・表現力等】 ・喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見できる。 ・喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、我が国のこれまでの取組を個人への働きかけと社会環境への対策の面から分析したり、諸外国と比較したりして、防止策を評価できる。 ・喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 </td> <td> 【学びに向かう力・人間性等】 喫煙、飲酒、薬物乱用について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 </td> </tr> <tr> <td>定期考査</td> <td></td> </tr> </table>	単元	現代社会と健康	【知識及び技能】 ・喫煙や飲酒は、生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねること、喫煙や飲酒による健康課題を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観の育成などの個人への働きかけ、及び法的な整備も含めた社会環境への適切な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりできる。 ・コカイン、MDMA などの麻薬、覚醒剤、大麻、など、薬物の乱用は、心身の健康、社会の安全などに対して深刻な影響を及ぼすことから、決して行ってはならないことについて、理解したことを言ったり書いたりできる。 ・薬物乱用を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観や規範意識の育成などの個人への働きかけ、及び法的な規制や行政的な対応など社会環境への対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりできる。	・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等 喫煙と健康 飲酒と健康 薬物乱用と健康 教科書 ワークシート 一人一台端末の活用 他	【思考力・判断力・表現力等】 ・喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見できる。 ・喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、我が国のこれまでの取組を個人への働きかけと社会環境への対策の面から分析したり、諸外国と比較したりして、防止策を評価できる。 ・喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。	【学びに向かう力・人間性等】 喫煙、飲酒、薬物乱用について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	定期考査		<table border="1"> <tr> <th>単元</th> <th>現代社会と健康</th> </tr> <tr> <td> 【知識及び技能】 ・喫煙や飲酒は、生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねること、喫煙や飲酒による健康課題を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観の育成などの個人への働きかけ、及び法的な整備も含めた社会環境への適切な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・コカイン、MDMA などの麻薬、覚醒剤、大麻、など、薬物の乱用は、心身の健康、社会の安全などに対して深刻な影響を及ぼすことから、決して行ってはならないことについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・薬物乱用を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観や規範意識の育成などの個人への働きかけ、及び法的な規制や行政的な対応など社会環境への対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 </td> <td> ・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等 喫煙と健康 飲酒と健康 薬物乱用と健康 教科書 ワークシート 一人一台端末の活用 他 </td> </tr> <tr> <td> 【思考力・判断力・表現力等】 ・喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、我が国のこれまでの取組を個人への働きかけと社会環境への対策の面から分析したり、諸外国と比較したりして、防止策を評価している。 ・喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 </td> <td> 【学びに向かう力・人間性等】 喫煙、飲酒、薬物乱用について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 </td> </tr> <tr> <td>定期考査</td> <td></td> </tr> </table>	単元	現代社会と健康	【知識及び技能】 ・喫煙や飲酒は、生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねること、喫煙や飲酒による健康課題を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観の育成などの個人への働きかけ、及び法的な整備も含めた社会環境への適切な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・コカイン、MDMA などの麻薬、覚醒剤、大麻、など、薬物の乱用は、心身の健康、社会の安全などに対して深刻な影響を及ぼすことから、決して行ってはならないことについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・薬物乱用を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観や規範意識の育成などの個人への働きかけ、及び法的な規制や行政的な対応など社会環境への対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等 喫煙と健康 飲酒と健康 薬物乱用と健康 教科書 ワークシート 一人一台端末の活用 他	【思考力・判断力・表現力等】 ・喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、我が国のこれまでの取組を個人への働きかけと社会環境への対策の面から分析したり、諸外国と比較したりして、防止策を評価している。 ・喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。	【学びに向かう力・人間性等】 喫煙、飲酒、薬物乱用について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	定期考査		4
単元	現代社会と健康																		
【知識及び技能】 ・喫煙や飲酒は、生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねること、喫煙や飲酒による健康課題を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観の育成などの個人への働きかけ、及び法的な整備も含めた社会環境への適切な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりできる。 ・コカイン、MDMA などの麻薬、覚醒剤、大麻、など、薬物の乱用は、心身の健康、社会の安全などに対して深刻な影響を及ぼすことから、決して行ってはならないことについて、理解したことを言ったり書いたりできる。 ・薬物乱用を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観や規範意識の育成などの個人への働きかけ、及び法的な規制や行政的な対応など社会環境への対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりできる。	・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等 喫煙と健康 飲酒と健康 薬物乱用と健康 教科書 ワークシート 一人一台端末の活用 他																		
【思考力・判断力・表現力等】 ・喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見できる。 ・喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、我が国のこれまでの取組を個人への働きかけと社会環境への対策の面から分析したり、諸外国と比較したりして、防止策を評価できる。 ・喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。	【学びに向かう力・人間性等】 喫煙、飲酒、薬物乱用について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。																		
定期考査																			
単元	現代社会と健康																		
【知識及び技能】 ・喫煙や飲酒は、生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねること、喫煙や飲酒による健康課題を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観の育成などの個人への働きかけ、及び法的な整備も含めた社会環境への適切な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・コカイン、MDMA などの麻薬、覚醒剤、大麻、など、薬物の乱用は、心身の健康、社会の安全などに対して深刻な影響を及ぼすことから、決して行ってはならないことについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・薬物乱用を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観や規範意識の育成などの個人への働きかけ、及び法的な規制や行政的な対応など社会環境への対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等 喫煙と健康 飲酒と健康 薬物乱用と健康 教科書 ワークシート 一人一台端末の活用 他																		
【思考力・判断力・表現力等】 ・喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、我が国のこれまでの取組を個人への働きかけと社会環境への対策の面から分析したり、諸外国と比較したりして、防止策を評価している。 ・喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。	【学びに向かう力・人間性等】 喫煙、飲酒、薬物乱用について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。																		
定期考査																			

<p>【知識及び技能】</p> <p>・精神疾患は、精神機能の基盤となる心理的、生物的、または社会的な機能の障害などが原因となり、認知、情動、行動などの不調により、精神活動が不全になった状態であることについて、理解したことを言ったり書いたりできる。</p> <p>・うつ病、統合失調症、不安症、摂食障害などは、誰もが罹患しうることで、若年で発症する疾患が多いこと、適切な対処により回復し生活の質の向上が可能であることについて、理解したことを言ったり書いたりできる。</p> <p>・精神疾患の予防と回復には、身体の健康と同じく、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた生活を実践すること、早期に心身の不調に気付くこと、心身に起こった反応については体ほぐしの運動などのリラクゼーションの方法でストレスを緩和することなどが重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりできる。</p> <p>・心身の不調時には、不安、抑うつ、焦燥、不眠などの精神活動の変化が、通常時より強く、持続的に生じること、心身の不調の早期発見と治療や支援の早期の開始によって回復可能性が高まることについて、理解したことを言ったり書いたりできる。</p> <p>・人々が精神疾患について正しく理解するとともに、専門家への相談や早期の治療などを受けやすい社会環境を整えることが重要であること、偏見や差別の対象ではないことについて、理解したことを言ったり書いたりできる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>・精神疾患の予防と回復について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見できる。</p> <p>・精神疾患の予防と回復について、習得した知識を基に、心身の健康を保ち、不調に早く気付くために必要な個人の取組や社会的な対策を整理できる。</p> <p>・精神疾患の予防と回復について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】</p>	<p>現代社会と健康</p> <p>・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等</p> <p>精神疾患の特徴 精神疾患の予防 精神疾患からの回復</p> <p>教科書 ワークシート 一人一台端末の活用 他</p>	<p>【知識及び技能】</p> <p>・精神疾患は、精神機能の基盤となる心理的、生物的、または社会的な機能の障害などが原因となり、認知、情動、行動などの不調により、精神活動が不全になった状態であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>・うつ病、統合失調症、不安症、摂食障害などは、誰もが罹患しうることで、若年で発症する疾患が多いこと、適切な対処により回復し生活の質の向上が可能であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>・精神疾患の予防と回復には、身体の健康と同じく、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた生活を実践すること、早期に心身の不調に気付くこと、心身に起こった反応については体ほぐしの運動などのリラクゼーションの方法でストレスを緩和することなどが重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>・心身の不調時には、不安、抑うつ、焦燥、不眠などの精神活動の変化が、通常時より強く、持続的に生じること、心身の不調の早期発見と治療や支援の早期の開始によって回復可能性が高まることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>・人々が精神疾患について正しく理解するとともに、専門家への相談や早期の治療などを受けやすい社会環境を整えることが重要であること、偏見や差別の対象ではないことについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>・精神疾患の予防と回復について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。</p> <p>・精神疾患の予防と回復について、習得した知識を基に、心身の健康を保ち、不調に早く気付くために必要な個人の取組や社会的な対策を整理している。</p> <p>・精神疾患の予防と回復について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】</p> <p>精神疾患の予防とその回復について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>		4
<p>定期考査</p>				1
<p>【知識及び技能】</p> <p>・感染症は、時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け、発生や流行に違いが見られること、その際、交通網の発達により短時間で広がりやすくなっていること、また、新たな病原体の出現、感染症に対する社会の意識の変化等によって、腸管出血性大腸菌（O 157 等）感染症、結核などの新興感染症や再興感染症の発生や流行が見られることについて、理解したことを言ったり書いたりできる。</p> <p>・感染症のリスクを軽減し予防するには、衛生的な環境の整備や検疫、正しい情報の発信、予防接種の普及など社会的な対策とともに、それらを前提とした個人の取組が必要であること、エイズ及び性感染症についても、その原因、及び予防のための個人の行動選択や社会の対策について、理解したことを言ったり書いたりできる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>現代の感染症とその予防について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見できる。</p> <p>・感染症の発生や流行には時代や地域によって違いがみられることについて、事例を通して整理し、感染のリスクを軽減するための個人の取組及び社会的な対策に応用できる。</p> <p>・現代の感染症とその予防について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】</p> <p>現代の感染症とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組むことができる。</p>	<p>現代社会と健康</p> <p>・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等</p> <p>現代の感染症 感染症の予防 性感染症・エイズとその予防</p> <p>教科書 ワークシート 一人一台端末の活用 他</p>	<p>【知識及び技能】</p> <p>・感染症は、時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け、発生や流行に違いが見られること、その際、交通網の発達により短時間で広がりやすくなっていること、また、新たな病原体の出現、感染症に対する社会の意識の変化等によって、腸管出血性大腸菌（O 157 等）感染症、結核などの新興感染症や再興感染症の発生や流行が見られることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>・感染症のリスクを軽減し予防するには、衛生的な環境の整備や検疫、正しい情報の発信、予防接種の普及など社会的な対策とともに、それらを前提とした個人の取組が必要であること、エイズ及び性感染症についても、その原因、及び予防のための個人の行動選択や社会の対策について、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>・現代の感染症とその予防について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。</p> <p>・感染症の発生や流行には時代や地域によって違いがみられることについて、事例を通して整理し、感染のリスクを軽減するための個人の取組及び社会的な対策に応用している。</p> <p>・現代の感染症とその予防について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】</p> <p>現代の感染症とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>		4

2 学 期	<p>【知識及び技能】</p> <p>健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考えに基づき、適切な意思決定や行動選択により、疾病等のリスクを軽減することを含め、自らの健康を適切に管理することが必要であるとともに、環境づくりが重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりでき、個人の知識、価値観、心理状態、及び人間関係などを含む社会環境が関連していることについて、理解したことを言ったり書いたりできる健康を保持増進するための環境には、自然環境、及び政策や制度、地域活動などの様々な社会環境があることについて、理解したことを言ったり書いたりできる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康の考え方について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見できる。 国民の健康課題について、我が国の健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し、生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理できる。 健康の考え方について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。 <p>【学びに向かう力・人間性等】</p> <p>健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組むことができる。</p> <p>定期考査</p>	<p>・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等</p> <p>健康に関する意思決定・行動選択 健康に関する環境づくり</p> <p>教科書 ワークシート 一人一台端末の活用 他</p>	<p>【知識及び技能】</p> <p>健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考えに基づき、適切な意思決定や行動選択により、疾病等のリスクを軽減することを含め、自らの健康を適切に管理することが必要であるとともに、環境づくりが重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 適切な意思決定や行動選択には、個人の知識、価値観、心理状態、及び人間関係などを含む社会環境が関連していることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 健康を保持増進するための環境には、自然環境、及び政策や制度、地域活動などの様々な社会環境がある。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康の考え方について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 国民の健康課題について、我が国の健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し、生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理している。 健康の考え方について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 <p>【学びに向かう力・人間性等】</p> <p>健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	3
	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事故は、地域、職場、家庭、学校など様々な場面において発生していること、事故の発生には、周りの状況の把握及び判断、行動や心理などの人的要因、気象条件、施設・設備、車両、法令、制度、情報体制などの環境要因などが関連していることについて、理解したことを言ったり書いたりできる。 事故を防止したり事故の発生に伴う傷害等を軽減したりすることを目指す安全な社会の形成には、交通安全、防災、防犯などを取り上げて、法的な整備などの環境の整備、環境や状況に応じた適切な行動などの個人の取組、及び地域の連携が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりできる。 交通安全を防止するには、自他の生命を尊重するとともに、自分自身の心身の状態や周りの環境、車両の特性などを把握すること、及び個人の適切な行動、交通環境の整備が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりできる。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全な社会づくりについて、安全に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見できる。 安全な社会づくりについて、様々な事故や災害の事例から、安全に関する情報を整理し、環境の整備に応用することができる。 交通安全について、習得した知識を基に、事故につながる危険を予測し回避するための自他や社会の取組を評価している。 安全な社会づくりについて、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。 <p>【学びに向かう力・人間性等】</p> <p>安全な社会づくりについて、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組むことができる。</p> <p>定期考査</p>	<p>・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等</p> <p>事故の現状と発生要因 安全な社会の形成 交通における安全</p> <p>教科書 ワークシート 一人一台端末の活用 他</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事故は、地域、職場、家庭、学校など様々な場面において発生していること、事故の発生には、周りの状況の把握及び判断、行動や心理などの人的要因、気象条件、施設・設備、車両、法令、制度、情報体制などの環境要因などが関連していることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 事故を防止したり事故の発生に伴う傷害等を軽減したりすることを目指す安全な社会の形成には、交通安全、防災、防犯などを取り上げて、法的な整備などの環境の整備、環境や状況に応じた適切な行動などの個人の取組、及び地域の連携が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 交通事故を防止するには、自他の生命を尊重するとともに、自分自身の心身の状態や周りの環境、車両の特性などを把握すること、及び個人の適切な行動、交通環境の整備が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全な社会づくりについて、安全に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 安全な社会づくりについて、様々な事故や災害の事例から、安全に関する情報を整理し、環境の整備に応用している。 交通安全について、習得した知識を基に、事故につながる危険を予測し回避するための自他や社会の取組を評価している。 安全な社会づくりについて、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 <p>【学びに向かう力・人間性等】</p> <p>安全な社会づくりについて、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	3
3 学 期	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を防いだり、傷病者の苦痛を緩和したりすることについて、理解したことを言ったり書いたりできる。 自他の生命や身体を守り、不慮の事故災害に対応できる社会をつくるには、一人一人が適切な連絡・通報や運搬も含む応急手当の手順や方法を身に付けることとともに、自ら進んで行う態度が必要であること、さらに、社会の救急体制の整備を進めること、救急体制を適切に利用することが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりできる。 日常生活で起こる傷害や、熱中症などの疾病の際には、それに応じた体位の確保・止血・固定などの基本的な応急手当の方法や手順があることを、実習を通して理解し、応急手当ができるようにする。 心肺停止状態においては、急速に回復の可能性が失われつつあり、速やかな気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AED（自動体外式除細動器）の使用などが必要であること、及び方法や手順について、実習を通して理解したことを言ったり書いたりし、AEDなどを用いて心肺蘇生法ができる。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>日常生活で起こる傷害や、熱中症などの疾病の際には、それに応じた体位の確保・止血・固定などの基本的な応急手当の方法や手順があることを、実習を通して理解し、応急手当ができるようにする。 心肺停止状態においては、急速に回復の可能性が失われつつあり、速やかな気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AED（自動体外式除細動器）の使用などが必要であること、及び方法や手順について、実習を通して理解したことを言ったり書いたりし、AEDなどを用いて</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】</p> <p>安全な社会づくりについて、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組むことができる。</p> <p>定期考査</p>	<p>・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等</p> <p>応急手当の意義とその基本 日常的な応急手当 心肺蘇生法</p> <p>教科書 ワークシート 一人一台端末の活用 他</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を防いだり、傷病者の苦痛を緩和したりすることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 自他の生命や身体を守り、不慮の事故災害に対応できる社会をつくるには、一人一人が適切な連絡・通報や運搬も含む応急手当の手順や方法を身に付けることとともに、自ら進んで行う態度が必要であること、さらに、社会の救急体制の整備を進めること、救急体制を適切に利用することが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 日常生活で起こる傷害や、熱中症などの疾病の際には、それに応じた体位の確保・止血・固定などの基本的な応急手当の方法や手順があることを、実習を通して理解し、応急手当ができるようにする。 心肺停止状態においては、急速に回復の可能性が失われつつあり、速やかな気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AED（自動体外式除細動器）の使用などが必要であること、及び方法や手順について、実習を通して理解したことを言ったり書いたりし、AEDなどを用いて <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>日常生活で起こる傷害や、熱中症などの疾病の際には、それに応じた体位の確保・止血・固定などの基本的な応急手当の方法や手順があることを、実習を通して理解し、応急手当ができるようにする。 心肺停止状態においては、急速に回復の可能性が失われつつあり、速やかな気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AED（自動体外式除細動器）の使用などが必要であること、及び方法や手順について、実習を通して理解したことを言ったり書いたりし、AEDなどを用いて</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】</p> <p>安全な社会づくりについて、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	4

<p>【思考力・判断力・表現力等】 ・応急手当について、安全に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見できる ・応急手当について、習得した知識や技能を事故や災害で生じる傷害や疾病に関連付けて、悪化防止のための適切な方法に应用することができる。 ・応急手当について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 応急手当について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組むことができる。</p>		<p>【思考力・判断力・表現力等】 ・応急手当について、安全に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・応急手当について、習得した知識や技能を事故や災害で生じる傷害や疾病に関連付けて、悪化防止のための適切な方法に应用している。 ・応急手当について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 応急手当について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>				
<p>定期考査</p>						<p>1</p>
						<p>合計</p>
						<p>35</p>